

おしかぐん おながわ
牡鹿郡女川町
周辺の民話

2011・3・11

大津波に襲われた沿岸集落で
かつて聞いた

むかしばなし
はなしその七



民話の語り手をたずね、
その土地に伝承された民話を聞き歩く活動を
約45年にわたり続けてきた
「みやぎ民話の会」が、
宮城県牡鹿郡女川周辺の浜で、
かつて聞いた民話を紹介いたします。

2019年7月6日(土) - 9月1日(日)

※7月25日(木)、8月22日(木)は休館日

時間 9:00~22:00

せんだいメディアテーク 7階ラウンジ

観覧無料

野ザルの群れ
カラスの恩返し
ウドンゲの花
もうれん舟(幽霊舟)
流れてきた死体
銀蔵キツネとおばあさん
風呂は肥溜め
キツネが負ぶさってくる
沼のキツネ
屁つたれの屁之丞

会場滞在

7月と8月の毎週木曜日(休館日除く)は、民話 声の図書館のメンバーが
会場に滞在します(午前11時~午後3時) ※7/11,18 8/1,8,15,29

2011・3・11

大津波に襲われた沿岸集落でかつて聞いた
いいつたえ、むかしばなし、はなし

この展示で紹介するお話は、みやぎ民話の会が、1985年から1988年にかけて、宮城県から委託を受けて行った「宮城県民話伝承調査」の際に聞き書きした民話です。

語った方の大部分は、震災の前にすでに亡くなっています。そして、語られた土地の姿はいま大きく変化し、若い人の多くは浜を去ることを余儀なくされるという現状もあります。しかし、手許に残った語りは、かつてここで生きていた人々の姿を、ありありと伝えてくれます。

2011年3月11日の大津波で大きな被害をこうむった宮城県内の沿岸集落でかつて聞いた話から、小野和子が10話程度を選んで紹介するシリーズ展です。

第7回目となる今回は、牡鹿郡女川町の浜で聞いた10話をご紹介します。

■これまで紹介した地域

(会場でこれまでのお話もお読みいただけます)

南三陸町戸倉、石巻市雄勝町周辺、
気仙沼市本吉町小泉周辺、南三陸町歌津周辺
七ヶ浜町周辺、松島町周辺

CD紹介 第一弾 CD が完成しました

『登米市迫町の伊藤正子の語り [1]～[6]』



語り手 伊藤正子
聞き手 みやぎ民話の会
録音 みやぎ民話の会
採訪年 1987年～1999年

制作 みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム
せんだいメディアテーク

メディアテーク2階「映像音響ライブラリー」/
視聴覚教材ライブラリーにて、貸出・視聴いただけます。

予告

「第7回 民話ゆうわ座」

2019年12月21日(土)13:00-16:00

せんだいメディアテーク1f オープンスクエア

主催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク 助成：一般財団法人 地域創造
当プロジェクトは、せんだいメディアテークの事業「メディアスタディーズ」の一環として実施されています。
メディアスタディーズ <https://www.smt.jp/projects/mstudies/>



「民話 声の図書室」とは

「民話 声の図書室」プロジェクトチームでは、みやぎ民話の会が記録してきた民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として、後の世代に手渡していくことを目指しています。民話語りの CD 作成、語りの映像撮影と DVD 作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを、せんだいメディアテークと協力して行っています。

「みやぎ民話の会」とは

宮城県を中心に東北地方の民話採訪・民話集編纂に従事してきた小野和子氏によって、1975年に設立されたサークルです。同県内を中心に山の村や海辺の町を歩き、そこで聞いた民話を記録し、その一部は『みやぎ民話の会叢書』としてまとめています。また、語り手と膝を交え、地域の伝承の語りに直に触れながら勉強をする「みやぎ民話の学校」の企画運営を行っています。

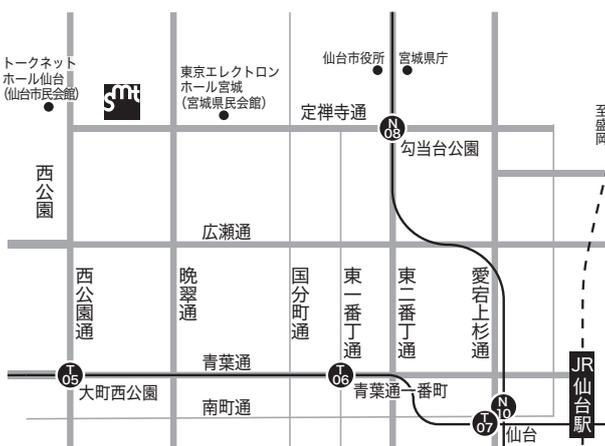
お問い合わせ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室

仙台市青葉区春日町 2-1

電話 022-713-4483 FAX 022-713-4482

<https://www.smt.jp/>



「民話ゆうわ座」では、誰もが知っている日本の民話を題材に、みやぎ民話の会が1975年から採訪し記録してきた、民話語りの映像や音声をしたり聞いたりします。先祖の声に耳をすませ、そこから感じたみなさんの思いや考えを、自由に語り合ってみませんか。



※この紙はリサイクルできます